

令和2年1月栄町教育委員会定例会会議録

期日 令和2年1月29日(水) 開会：午後2時 閉会：午後3時15分

会場 栄町役場2階第4会議室

教育長及び出席委員

教 育 長	藤ヶ崎 功
委 員(教育長職務代理者)	中 島 宣 行
委 員	大久保 雅 從
委 員	弘 海 千 鶴
委 員	石 川 京 子

欠席委員 なし

説明のため出席した職員

教育総務課長	磯 岡 和 之
学校教育課長	大 野 真 裕
生涯学習課長	早 野 徹
給食センター施設長	亀 田 浩

職務のため出席した職員

教育総務課長補佐(書記)	由 井 茂
--------------	-------

傍聴人：0人

- 1 教育長開会宣言
- 2 議事の進行 中島宣行委員(教育長職務代理者)
- 3 署名委員の指名 弘海委員
- 4 会期 本日1日限り
- 5 教育委員の活動報告

令和2年1月「教育委員の活動報告」

月	日	曜	場所	活動名	内 容
12	21	土	栄中	さかえスポーツフェスタ	7回目となる「さかえスポーツフェスタ」に町長、町議、教育委員とともに参加してきました。 バレーボールでは丸山由美さん、ヨーコ・ゼッターランドさん、齋藤信治さん、卓球では渡辺恵子さん、藤沼亜衣さん、陸上競技では井上将憲さん、君野貴弘さん等、世界で活躍された選手から、栄中を始めとした近隣中学生が直接指導を受けました。
	24	火	竜角寺台小 安食小 布鎌小	ウィンターわくドラ	「ウィンターわくドラ」の開催にあたり、冬季休業中でも勉強に励む子供たちの様子を視察してきました。佐原から来てくれている高校生もいました。
			栄中		部活動の合間を縫って勉強に励む中学生の様子を視察してきました。受験生4名はマンツーマンで数学に取組み、高校生から個別指導を受けていました。
	27	金	庁議室	朝礼	年末にあたり、町長から全職員へ訓示がありました。
1	6	月	庁議室	朝礼	年頭にあたり、町長から全職員へ訓示がありました。
	7	火	県庁・県教委	挨拶	町長、副町長、関係課長とともに、知事、副知事、各課長、教育長、次長、各課長への年頭挨拶に出向きました。帰りは、印旛合同庁舎にて保健所、北総教育事務所、その後ネット296、印西警察署、日本食研、よつ葉乳業を回りました。
	9	木	役場	面接	各学校長と、人事異動にかかる面接を実施しました。
			布鎌小	会議	人事異動、不祥事根絶、働き方改革について話しました。 また、授業参観では、子ども達が落ち着いて学習していました。
	11	土	ふれプラ	式典	町内消防関係者が集まり、新春を寿ぐ、出初め式を挙行了しました。 少年消防団に加え、女性消防団員が華を添えていました。その後、町消防委員と情報交換会を行いました。
			成田市	通夜	学校歯科医を永くお務めていただいた方のご焼香にいたしました。
	12	日	ふれプラ	式典	教育委員とともに、未来の栄町を担う若者を祝う式典に参加しました。
	14	火	合同庁舎	会議	印旛郡市教育委員会連絡協議会の表彰規定を協議しました。
	15	水	印西市	面接	千葉県教育庁北総教育事務所長と町教委、各校長による人事異動面接に参加しました。
			役場	会議	人事異動、不祥事根絶、働き方改革について話しました。 新型コロナウイルスによる感染症対策にも言及しました。
	17	金	東京都	会議	ICT教育に関わる文部科学省の説明会に参加しました。
	18	土	印西市	応援	印西地区近隣中学校駅伝大会が開催され、開会式にて激励と本町開催のマラソン大会の案内をしてきました。栄中女子チームが参加しました。
	21	火	役場	会議	4級職員面接の打合せを行いました。
	22	水	役場	面接	4級職員の面接を行いました。
	23	木	金田屋	情報交換会	栄町を愛する女性の会懇談会に、町長、生涯学習課長とともに参加しました。
	24	金	役場	挨拶	「ふれあい文化祭」実行委員会の方から、開催案内をいただきました。
	25	土	水と緑の運動公園	閉講式	ドラム自然楽校の閉講式に参加しました。
	26	日	香取市	鑑賞	県教育委員会主催の房総の郷土芸能大会が開催され、7つの民俗芸能が一同に会し、「北辺田獅子舞」が県教育長表彰を受け、保存会の皆さんによる公演もありました。町長とともに応援してきました。
	28	火	佐倉市	審議会	CATV296にて放映する番組を視聴し審査する「放送番組審議会」に参加しました。
			役場	式典	社会福祉功労者表彰式に参加しました。栄中生徒会、布鎌小児童受賞。
29	水	役場	定例会	教育委員会会議定例会を開催。(報告2件、議案1件)	

藤ヶ崎教育長：

前回、12月20日定例会後の活動について報告します。

12月21日、土曜日、委員の皆さんと、栄中学校体育館で開催した「栄スポーツフェスタ」に参加しました。白須賀代議士、滝田県議、町会議員、社会教育委員さんも来賓としていらしていました。

バレーボールでは丸山由美さん、ヨーコ・ゼッターランドさん、齋藤信治さん、卓球では渡辺恵子さん、藤沼亜衣さん、陸上競技では井上将憲さん、君野貴弘さん等、世界で活躍された選手から、栄中を始めとした近隣中学生が直接指導を受けました。

特に、印西中学校の男子バレーボール部を引率してきていた「佐倉中学を前年度に退職した柏熊元校長先生が、再任用で印西中のバレー部顧問として、土日も部活動を指導して下さっているのに頭が下がりました。不登校から立ち直らせた男子生徒が、バレーの実技で選手代表に指名され、直接指導を受けていました。本人にとっても大きな自信となり得たものと思います。このことをきっかけに、今後の生きる糧になってくれるものと期待しました。そして、この事業が、目的にあるように、「大きな夢と希望を育む」ことに繋がるものと考えます。先日、亡くなった中日ドラゴンズの高木守道さんは、高校の時に教えてもらった長嶋茂雄さんの言葉があつて、後にプロとなり、中日の監督を引き受け、長嶋監督との10・18決戦まで繋がっているとのことでした。また、力のある再任用者の重要性を再確認したところでもありました。

24日には、課長会議終了後、小学校3校と栄中の「ウインターわくドラ」を視察してきました。布鎌小では、3グループ編成、2グループは3名ずつ6名の元校長先生が教えてくれていました。大久保委員さんにもご指導いただき、ありがとうございます。また、栄中学校では、1、2年生とは別に、受験生4名が、高校生によるマンツーマン指導を受けていました。どうか、志望校に合格してもらえればと祈っています。

7日火曜日、町長、副町長、関係課長とともに、県庁、教育庁等に、年頭の挨拶に行ってきました。

9日、各学校長と人事異動に係る面接を行い、所長面接に備えました。午後は、布鎌小の校長会議に参加しました。不祥事防止、いじめ防止、働き方改革について話すとともに、12月24日に文科省で公表された「平成30年度公立学校教職員の人事行政状況調査」をもとに、懲戒免職がゼロの都道府県が3県、6政令市あることから、出来ない数字ではないこと、また、男性の育休取得率の向上も初めて記されていたので、校長として、相談に乗るようにと、伝えました。

最後に、弘海委員からのご提言があつた「学級閉鎖」情報を速やかに報告すること、法令に則り対応すること、その日の昼のニュースで放映された新型感染症への対応に

についても念頭におくことを話しました。平成21年に新型インフルエンザが流行した際には、校長として、子供たちに体温カードを配布し、毎朝提出させたことや、職員には、出勤簿捺印の際、体温を記入させてきたことも話しました。

そして、校長自身の働き方改革として、「出初め式」、「成人式」への参加自粛を強く指導しました。

11日、町内消防関係者が集まり、新春を寿ぐ、出初め式が挙行され、参加しました。

その後、昨年度まで永年の間、町の学校歯科医としてご尽力いただいた「斎藤先生」のご焼香に行っていました。

翌、12日、教育委員の皆さんご臨席のもと、成人式を挙行し、未来の栄町を担う若者をお祝いしてきました。今年は、壇上に上がるような狼藉者もなく、穏やかな中で実施できました。充て職の社会教育委員であった2人の校長は欠席してくれました。

そして、昨年度、皆さん方、委員からご意見をいただいた、成人者の座席を前方に区切った方が盛り上がるとしたことも、取り入れられ、分散を回避できるとともに、家族席とも分けられて、よかったですと感じています。

成人式については、テレビ等、マスコミでも話題となっていますように、成人年齢が2022年から引き下げられる法改正に伴い、18歳で行うか、20歳で行うかという議論を、今後、進めていかなければなりません。

印旛地区内のある市町村では、既に、対象年齢層にアンケート調査をした市もあります。また、佐倉市などは、18歳に引き下げた場合、2022年に、18歳、19歳、20歳までの3学年分を同時期に、実施していくことが、収容困難だという物理的な状況もあると聞いています。因みに、法務省のホームページによると、「成人式の時期や在り方に関しては、現在、法律による決まりはなく、各自治体の判断で実施されていますが、多くの自治体では、1月の成人の日前後に、20歳の方を対象に実施しています。

成年年齢が18歳に引き下げられた場合には、そもそも18歳の方を対象とするのか、高校3年生の1月という受験シーズンに実施するのか、2022年度は3学年分同時に実施するのかといった問題があると指摘されています。

本町では、日を改めて、社会教育委員の皆さん、議案を審議していただく教育委員の皆さんの意見を伺っていきたいと思います。

次に、14日、佐倉の印旛合同庁舎にて、印旛地区の教育長会議が開催され、次年度の行事計画について、協議しました。その後、所長、次長、管理課長等と情報交換を行いました。

翌、15日、印西市の大森小学校にて、北総教育事務所長と町教委、各校長による

人事異動面接を行いました。

漏れてしまいましたが、午後は、町の教頭会議に参加しました。不祥事の根絶と、働き方改革の継続、そして、新型コロナウイルスへの対応として、空港ホテルから房総のむらへの無料送迎バスがあることや、成田のイオンへのインバウンド等、感染の脅威について話しました。

なお、昨日、今日の2日間、安食台小の6年生がインフルエンザでの学級閉鎖をしております。

16日、県の総合教育センターの研修会が、ふれプラにて開催されるに伴い、ふるさと納税、移住定住の案内をし、会場地教育委員会からの歓迎の意を表してきました。

17日、東京港区の「三田共用会議所」にて、文部科学省主催の「学校ICT活用フォーラム」が開催され、参加してきました。昼食に、無料のサンドイッチが用意されており、力の入れ方が伝わってきました。国として、ここと京都の2か所開催で、対象は首長、教育長、その他職員という案内で、会場は、ごった返していました。前日にも授業参観が、協力視察校として、つくば市の「みどり学園義務教育学校」であり、栄町からも「五十嵐主事」が参加しております。

二日目となるこの日にも、午前中は、つくば市の教育長とみどり学園義務教育学校の校長がたつぷりと説明してくれました。桜村立竹園小が昭和52年に開校し、その後、脈々とコンピュータを採り入れた授業を続けている。まだ一人一台にはなっていないとのことでした。

「竹園小」と言えば、研究学園都市に勤務する科学者の子どもが集まる学校として一時有名で、この学校では、どの子も優秀過ぎて、相対的に7割と国が示してきた「1」や「5」の評定に区切れないとして、通知表の5段階評定を無くし、到達度評価に切り替えたという話題が、思い出されます。今では、国も指導要録の評定を相対評価から到達度評価へ、小学校では5段階から3段階と改訂してきておりまして、その動きの端緒となった学校です。

午後は、渋谷区の西原小への参観予定でしたが、[GIGAスクール構想の実現に関する補助事業の概要]という文科省の課長説明が予定されていたので、午後も残って聞いてきました。

12月に首相から突然発表された「経済対策」に、都道府県、並びに市町村が戸惑っている状況は変わらず、説明1時間半に加え、1時間の質疑応答が用意されており、「補助金の要綱」は、2月上旬になるという回答を受け、3月の補正予算に間に合わないといった苦情が多く寄せられていました。

18日、小雪混じりの、印西市の松山下公園陸上競技場にて、印西地区近隣中学校駅伝大会が開催され開会の挨拶をしてきました。2月16日に開催予定の「さかえり

バーサイドマラソン」に、東葛高校の優秀選手がたくさん走ってくれていることを紹介し、今年は間に合わないものの、次年度の栄りバーサイドマラソンへの参加要請を行ってきました。

23日、社会教育団体として認定している「栄町を愛する女性の会」の新年会に、町長、生涯学習課長とともに参加しました。

25日、水と緑の運動広場で「ドラム自然楽校」の凧揚げ大会と閉講式が行われました。総評として、寒風に背を向けずに、凧のように、立ち向かってくれるよう励ましました。青少年相談員、並びに、社会教育委員の皆さんに感謝しました。

26日、香取市の佐原文化会館にて、県教委主催の房総の郷土芸能大会が開催され、北辺田の獅子舞の公演と県教育長からの表彰があり、町長とともに応援に行ってきました。保存会の皆さんの300年を超える伝統に裏打ちされた「太鼓と舞い」そして笛の音が会場を沸かせていました。

28日、ネット296の番組審議会が佐倉市であり、新番組の視聴と意見交換を行いました。今年は、台風21号による大雨で、佐倉市田町車庫のバスが水に浸かっている映像や、山武地区の杉の大木が電線に倒れかかっている映像等、地上波のテレビでは見られなかった独自取材による災害特別番組と、空き家対策番組等、3本の番組について視聴後、審議を行いました。

午後は、町社会福祉協議会による「功労表彰式」に参加しました。始めに、「川の流れるように」を手話による手習いを受けまして、「福祉」に相応しい表彰式の始まりでした。表彰は7部門に分かれ、永年の間、町内福祉にご尽力いただいた方、多額の寄付をしていただいた方、独居老人への給食サービス、善行のあった青少年となり、児童生徒では、栄中学校生徒会と、布鎌小の島田兄弟が表彰されました。栄中は、赤い羽根共同募金活動の店頭募金への協力、布鎌小の2人は、房総のむら「ふるさと祭り」での赤い羽根共同募金に協力したことが認められての表彰となりました。

以上、年末から年明け1月にかけての報告といたします。

この後、議案は1件ありますが、よろしくご審議願います。

大久保委員：

12月24日のウインターわくドラに参加しました。私も子供たちと一緒に勉強してきました。参加人数は少なかったですが、参加している子供たちは一生懸命に勉強し、多く質問をしてくれたので充実した勉強ができたと思います。

28日に社会福祉功労者表彰式に参加しました。栄中の生徒と布鎌小学校の児童が表彰されました。募金は大人が行うよりも子供たちが行った方が多く集まったようでした。

弘海委員：

12日に行われた成人式に参加してきました。今年はとても落ち着いた成人式でした。下総栄太鼓が演奏してくれて華やかな雰囲気の中で成人式が挙行され、すてきな成人式でした。少し残念だったのは会場が寒く感じたことです。

石川委員：

12月24日に行われたウインターわくドラですが、自校開催ということでその状況を見てまいりました。自校開催のため多くのボランティアの協力が必要なところ、各学校多くの方々が協力をいただきとてもありがたく思います。多くの地域の方々の協力を頂き開催できていることに感謝しています。

中島委員：

さかえスポーツフェスタに参加してまいりました。7名のオリンピックに来ていただいているのに参加者が少ないのが気になりました。近隣の中学校に声をかけているととのことですが、町の小学校にも声をかけていただいて、低年齢のほうがオリンピックの言動が心に残ると思いますので今後検討して下さい。

6 案 件

報 告

報告第1号 いにしへの道をたどって～なりた道を歩こう～の後援承認について

磯岡教育総務課長：

それでは報告第1号についてご説明いたします。

令和元年12月20日付けで、のら里くら里健康ウォーキングの会代表 中澤一夫氏から「いにしへの道をたどって～なりた道を歩こう～」について後援承認申請がありました。行事の趣旨は、昔、成田山詣で賑わった安食から成田山新勝寺までの旧なりた道をたどり、当時の街道に思いを馳せ、街道の魅力をPRするとともに、参加者の健康づくりと相互の親睦、地域の活性化を図るものです。会場及び日程は、JR安食駅北口→白山（百庚申）→酒直（多宝院・素羽鷹神社）→旧栄東中前→房総風土記の丘→坂田ヶ池→二宮神社→北総鉄道湯川駅→郷部交差点→埴生神社（三宮）→成田山新勝寺本堂前（ゴール）で2月15日（土）に行われるものです。参加予定者数及び参加の方式は、50名でふれあいプラザさかえ窓口に応申書を提出するものです。行

事の後援者として、栄町教育委員会を予定しております。

報告第2号 ワークショップの後援承認について

磯岡教育総務課長：

続きまして、報告第2号についてご説明いたします。

こちらは、今回初めての申請になりますが、令和2年1月15日付けで、さかえ市民みゅーじかるの会 代表 宇多小夜子氏から「ワークショップ」について後援承認申請がありました。行事の趣旨は、人と人とのつながり、大人と子どもとのつながり、地域のつながり、命のつながり、過去から未来へのつながりなど、新しいつながりを生み出し、みんなが元気でずっと住み続けたい大好きな栄町を創ることを目的としており、このワークショップを開催して、人材を増やしていきたいとのことです。

日程及び場所につきましては、令和2年3月15日(日)、5月17日(日)、7月5日(日)のいずれも13時30分から16時30分まででふれあいプラザさかえ2階の多目的室となっています。パンフレットにより、町内及び近隣市町からの参加者を予定しています。行事の後援者として、栄町教育委員会を予定しております。

以上2件は、いずれも共催及び後援規程の趣旨に沿ったものでありますことから、教育長が専決処分したものでございます。以上よろしくお願いいたします。

7 案 件

議案第1号 令和元年度栄町一般会計教育費補正予算第8号について

磯岡教育総務課長：

提案理由です。令和元年度栄町一般会計教育費補正予算第8号について、議会の議決を求めべく栄町教育委員会行政組織規則第7条第3号の規定により町長に申し入れることについて、栄町教育委員会の議決を求めるものです。

(資料により説明)

歳出、学校管理運営事業の光熱水費の水道使用料と下水道使用料を資料のとおり増額補正をするものです。水道使用料につきましては、主に漏水が原因として漏水箇所の調査をしてまいりましたが特定されないまま現在に至っております。

亀田給食センター施設長：

給食センターの補正予算になります。

(資料により説明)

教育総務課と同様に光熱水費の水道料金と下水道使用料の増額補正をするものです。漏水によりまして、水道料金がかさんでしまったことから、本年度足りない分の補正となります。

漏水個所につきましては、調査し、箇所が特定され、すでに修理を終えております。

1 2 節の水質検査手数料ですが、年 2 回の水質検査を行っておりますが、漏水が原因で貯留槽の水が濁ってしまったため、安全を確保する必要があることから、水質検査を行うものです。

《審査結果》

承認

8 各課等の報告について

磯岡教育総務課長：

明日の教育長、教育委員研修会の集合出発時間を 10 時 30 分ふれプラを予定しております。

総合教育会議は、2 月 27 日の午後 1 時 15 分から開催を予定しております。

来月の教育委員会会議は 2 月 27 日の午後 2 時から開催を予定しております。

令和元年度卒業式・令和 2 年度入学式来賓者名簿についてですが、安食小は弘海委員、布鎌小は大久保委員、安食台小は中島委員、竜角寺台小は石川委員、栄中は全員参加で、よろしく願いいたします。

大野学校教育課長：

特別支援学級の卒業を祝う会の招待状です。全委員参加でよろしいでしょうか。

栄町立小中学校 ICT 環境総合整備事業について

(資料により説明)

本件につきまして、小中学校への統合型校務支援システム導入及び端末整備を実施することにしてはありますが、12 月 5 日に「安心と成長の未来を拓く総合経済対策」が閣議決定され、「学校における高速大容量のネットワーク環境（校内 LAN）整備の推進及び義務教育段階において、令和 5 年度までに全学年の児童生徒一人一人が端末を持ち、十分活用できる環境の実現」に向けた取組に対する国の補助制度が発表され、町としてもこの補助制度の活用について検討しているところです。

9月議会で説明をさせていただいたところですが、本補助金を活用する方向で検討をしていることから、9月の説明内容を変更せざるを得ないところがありますので、説明をさせていただきます。

はじめに、資料の1ページ目をご覧ください。P1では、経過について説明をさせていただきます。9月議会において、校務支援システム、ICT教育環境システム、加えて、回線工事と回線使用料で、合計16,740,000円で説明させていただきました。11月22日にプロポーザルを実施しました。12月の全員協議会で、内田洋行株式会社に決定したことをご報告いたしました。

次にP2についてです。国庫補助金についてですが、3人に2台の端末の整備をすることが目的です。3人に1台については、町単費で整備することとなります。但し交付税措置がなされています。一人に一台の端末を活用できるようにするため、大容量のネットワークシステムの整備が必要となります。この補助については、国から1/2の補助金が出ます。

国庫補助の対象とするための主な要件は、四角の中の内容となります。5ヵ年計画（令和5年までに）で一人一台のパソコンの整備を行う。県を単位とした広域・大規模調達を原則とする。但し、千葉県からはこの調達方法について、現時点で未定との回答です。

3の当面の町の対応ですが、一つとして、国庫補助を活用して整備を進めることとした。二つとして、GIGAスクール構想に基づいた導入計画を策定する。三つとして、当面、町としては、小5、中1の230台を整備することを考えています。

つぎにP3をご覧ください。4町の対応に関する課題についてですが、一つとして、現状、国から国庫補助金に関する詳細要件が示されていないこと。二つとして、県内同一機器での整備となった場合に、町単費整備分と県調達分の機器が別のものとなる可能性があること。三つとして、申請方法・時期及び内示時期が現状、示されていないことが挙げられます。

5今後の対応についてですが、当面は国庫補助の詳細と県の対応が不明確であることから、国庫補助対象外である校務支援システムの導入を先行して契約をしたいと考えています。ICT教育システム分については、国庫補助の詳細や県の対応を見極め、3月補正予算で整理し、予算成立後に契約したいと考えています。契約業者については、内田洋行株式会社とすることを考えています。

次のページです。参考資料1について、(1)は9月議会での5ヵ年分のICT教育環境システムと回線工事及び使用料の予算措置です。

(2)は当面の導入予算イメージです。最初に小5、中1を230台分整備したいと考えています。町単費分が左側、国庫補助を活用した整備分を右側に表記しました。

端末は1台53千円程度と見積もっています。町単費分では、端末を80台、町単費①424万円、右側に国庫補助金を活用した分については、端末150台、795万円。国庫補助分については、1台4.5万円の補助がでることから、一般財源としての支出は②125万円の支出となります。町単費、国庫補助を活用した端末整備の共通部分として、表の□Cの項目の整備が必要となり、一般財源で、6,481万円となります。表Dについては、回線工事費用として、260万円、表Eの部分については、国庫補助金を使って校内ネットワークの整備を行うこととなります。GIGAスクール構想の実現事業費として5,800万円支出となります。表Fはネットワーク保守及び回線使用料として1,600万円の支出となります。よって、表中の○1～○5の合計が一般財源のトータルとなり、8,890万円が一般財源として支出されることとなります。

次の、資料となります。参考資料2ページ目について、国の5ヶ年整備計画と町の計画イメージです。令和元年度から令和5年までを整備期間としています。上段が、国の整備計画です。下段が町の計画イメージです。

次ページの参考資料②については、これまで説明してきた考え方の基本となる国の補正額の主な考え方についてです。ご確認いただくようお願いします。

以上説明とさせていただきます。

中島委員：

千葉県の方針が決まらないと動けないと思いますが、いつごろはっきりする予定ですか。

大野学校教育課長：

2月7日に国主催の県及び市町村の担当者を対象とした説明会が開催されますので、その時に詳細の説明がされるのではないかと思います。

2月中旬から下旬にそれらがはっきりしてから、栄町の計画が認められればその方向で進みたいと思います。

ウインターわくドラの参加者の状況です。12月19日現在で昨年度同様に小学生については全体の27%の出席率です。中学生については、3%程度で昨年度と同程度ですが、昨年度は中学生の参加者はありませんでしたが、全学年出席をいただいています。

小中プロジェクトについてですが、9カ年で子供たちを育てようということで、並木先生がアドバイザーになり開催していただいておりますが、生活、学習、生徒指導の面から、小中をわけて考えるのではなく段階をおって育てようということで小中の

先生方によるプロジェクトチームを作っていただいております。栄っこ宣言はそのプロジェクトの一貫の取組みとされているところです。来月今年度最後の会議が開催される予定です。台風15号、台風19号、大雨により千葉県に大きな災害がありました。議会の一般質問で、避難所開設の際に教員がどういった役割を果たすのかとの質問を受けましたので、マニュアル等を確認しながらいろいろと検討いたしました。

避難所開設時の教職員の役割は、避難所開設の主たる職員として動くのではなく、町の職員が主たる避難所職員となり、教職員は子供たちの安全を第一に確保する役割に徹し、子供たちの安全が確保できた後に避難所開設協力員として校舎等を案内することになります。

また、開放する場所は、校舎内全部を避難所として開放することではなく、教室は極力解放せず、早期に授業にもどれるように、開放できる区域、できない区域を区別するというような方向です。そのような災害時の対応等について、2月18日に消防防災課と校長と学校教育課で会議を行う予定です。

早野生涯学習課長：

リバーサイドマラソンの現在のエントリー状況ですが、昨年と比べると減っていますがこれは、青梅マラソンと重なったり、昨年の台風の被害で県内の昨年度の参加者に案内状を送らなかったことなどによることが考えられます。今年は、3,255人のエントリーで、全国から申し込みがありました。

開催当日は、体育協会の各専門部、各子供スポーツ団体、順天堂大学、国際医療福祉大学等約200人を超えるボランティアの皆さんの協力のもと実施される予定です。交通規制の中で一部地域の方が通り抜けできないところがあったり、また、一部の方から苦情があったりしますが、実施する上で改善できるところは改善していきたいと思えます。

成人式の参加状況についてですが、対象者の7割強の参加をいただきました。対象者は、町内出身者、町外出身者ですが、町内出身者は8割の方が参加をいただきました。

岩屋古墳の指定10周年記念講演会の案内です。昨年、一昨年と早稲田大学が石棺の調査を行っていただきその調査の研究成果の発表を2月2日に予定しております。

2月1日に順天堂大学で大学の協力をいただきまして、親子体操教室を行います。小学4年生から小学6年生の親子を対象とし、現在15人の申込みがあります。サタデーわくドラと安食小の参観日の日と重なってしまい予定より参加者が少ない状況です。

2月3日は毎年ふれプラで豆まきを行っています。今年は力士の方が6名協力して

いただける予定になっております

亀田給食センター施設長：

令和2年度入学説明会を行います。本日は布鎌小学校で、その他の学校は資料にある通りの日程で説明会を行います。

説明会は、学校給食費納付に係る口座引落関係と児童手当からの給食費徴収の制度について、第3子以降の学校給食費無償化制度についての3点について保護者の方に手続き関係及び書類関係の提出等について説明をいたします。

2月の給食の献立予定表をご覧ください。2月10日、17日、20日に安食小学校の児童のみなさんが考えたメニューを配食する予定です。

児童が考えたメニューは1月から実施して3月まで行う予定です。献立表は毎月作成し、保護者に配布しお知らせしております。

3月の卒業式の当日の給食の配食ですが、小学校は行いませんが、中学校は1年生、2年生に配食をする予定になっております。

石川委員：

新型コロナウイルスによる制限等県から何らかの指示がきていますか。

藤ヶ崎教育長：

平成21年の新型インフルエンザが流行した時は、同居家族の中に1人でも発症している方がいた場合は、登校は禁止されました。学級で3人発症した場合はその学級の閉鎖などの措置をとるように県より指示が来ていましたが、今のところまだありません。

弘海委員：

小中学校にアルコール消毒を設置したりしていますか。

大野学校教育課長：

各学校にそれぞれアルコール消毒を設置しています。

また、子供たちには手洗い、うがい等、インフルエンザの予防の対応と同じように指導しています。

9 その他について

大野学校教育課長：

議員さんから、布鎌小学校の2年生が給食センターへ訪問した結果、残食率が減っており、良い取組みなので他の学校にも広めるよう取り組まないのかとの話がありました。

教育課程については、校長先生が学校にあった教育課程を組み、その方針で行うことになっていますが、2月の校長会で布鎌小の実態について説明をし、そのような取組みが必要であるか話す予定です。

10 教育長閉会宣言